

テーマ：スマホ・タブレット等とどう付き合う？

◎ねらい 子どもがスマホ・タブレット等になぜ熱中してしまうのか、その理由を共有し、子どもの使用時間をコントロールできる上手い言葉かけについて考えることを目的とする。

分	主な活動	留意点	準備物
2	【はじめに】 スマホ・タブレット等は子どもを惹きつけてくれるので、子育ての場面で安易に与えてしまいがちです。ただ、「このままでいいのかしら？」と不安に思うことはないでしょうか。本日はみんなで一緒に「子どもとスマホ・タブレット等」について考えてみましょう。		
6	【アイスブレイク】		
5	【ワーク1（個人ワーク）】 宿題や課題、習い事の練習等、やることのあるのにスマホ・タブレット等がやめられない。こんな時、子どもはどんな言い分を持ち出すか、振り返ってワークシートに書いてもらう。 また、子どもがスマホ・タブレット等に熱中してしまう理由も書き出してもらう。	・親も使っている場面で子どもを注意することも多い。「大人と子どもは違うのよ！」という理屈は子どもには通用しない。保護者の行動も含めて考えるきっかけになるとよい。	ワークシート
15	【グループでのシェア】 それぞれに書かれた内容について、子どもの行動と発せられる言葉について共有する。	・情報を共有することで、問題の所在を考えるきっかけを。	
5	【ワーク2（個人ワーク）】 現実はどうしても感情的に受け止めてしまうが、子どもの言葉の背景に合わせた、効果的な言葉かけを考えてもらう。	・子どもの言い分に対処するために保護者はどうあればいいのかを考えられるとよい。	ワークシート
10	【グループでのシェア】 それぞれ想定する状況は異なるが、子どもに応じた理解と言葉かけについて、共感できればよい。	・少し難しいと感じる保護者がいるかも知れない。安心でき、穏やかな場づくりに配慮する。	
2	【まとめ】 スマホ・タブレット等を題材にして、子どもの実態とそれに応じた保護者の対応について考えていただきました。ひとまず、それぞれの家庭の状況について共有できたのではないのでしょうか。とにかく、感情の方が勝ってしまう子育てですが、たまには落ち着いて保護者同士で話し合うという時間も大切にしたいですね。		